



2007年9月1日

号外

民主党プレス民主編集部

〒100-0014
東京都千代田区永田町1-11-1
電話03-3595-9988(代表)
press@djp.or.jp
http://www.djp.or.jp

政治とは 生活である。

民主党長野県第5区総支部(代表 加藤 学) 〒395-0051 飯田市高羽町3-4-6 TEL: 0265-22-2480

加藤学 政権交代へ始動。

参議院で大勝利を収めた民主党、参議院では主導的な立場で、国会論戦を深め、自民党の横暴を矯正し、この国の舵取りに責任を果たしてまいります。安倍政権が選挙の反省を怠り、これまでの政策路線を修正しないようであれば、早期に衆議院解散に追い込み、民主党が代わって国民のために政権を運営しなくてはなりません。

先の参院選では自民王国の長野5区でも民主党の比例得票数が自民・公明両党の得票数を上回り、非自民の国会議員を誕生させる下地ができました。次期衆議院選では、加藤学の勝利によって、伊那谷から政権交代への狼煙を上げてまいります。



加藤学を激励する小沢代表

サインはL、リベラル宣言。

空前の経常利益をあげる大企業がある一方で、200万円以下の収入で生活する貧困層が増え、教育や医療にまで「格差」が広がっています。

にもかかわらず、安倍首相は生活者の悲痛な声には耳を傾けず、憲法の改正を急ぎ、過去の歴史にも向き合わないまま教育への国家介入を強め、競争による選別と爱国教育の徹底に力を注いでいます。

参院選の結果は、こうした安倍政治の理念そのものに「NO」を突きつけました。しかし、政権の座に留まった安倍首相には、政治家としての「潔さ」さえ見ることができません。



政治に信頼と緊張感を取り戻すため、私たちはあらゆるしがらみや既成概念を捨て、自らの生活と針路を律する「自由」を取り戻さなくてはなりません。今こそリベラル(Liberal:自由・寛容の意)宣言。

加藤学(がく)次期衆議院選公認候補

1968年、上田市の建具屋の次男坊として生まれる。

上田高校・早稲田大学商学部卒業

1993-96年 NHK 報道番組ディレクター

マレーシア国立マラヤ大学院 経済学修士

英国ロンドン大学 大学院経済学博士課程修了

2001-05年 日本貿易振興機構アジア経済研究所

2004-05年 国際機関・国際林業研究センター

2005年 国会議員政策担当秘書資格取得

2006年 中京学院大学経営学部 非常勤講師

伊那谷を元気にする重点政策

1. 農業：全ての販売農家に直接支払い制度
2. 税制：累進税率の見直しと金融取引税
3. 道路：高速道無料化と中京圏アクセス強化
4. 年金：完全一元化と基礎年金の税保障
5. 分権：個別補助金廃止と税源・権限委譲
6. 外交：日米同盟に偏重しない多国間外交
7. 安全保障：国連指揮下の集団的安全保障
8. 環境：新エネ技術の開発と森林整備の強化
9. ジェンダー：選択的夫婦別姓を制度化